

広報

いまり No.442



三世代健康まつりで介護の講習

(関連記事…8、9ページ)

'90  
12月

〈人口〉男28,760人 女32,140人 計60,900人(前月比-37)〈世帯数〉17,414世帯(11月1日現在)



村づくり塾  
スタート

# 夢のある農業

佐賀大学農学部



市役所



私たちが応援団になります

大学



農協



何でも  
相談して下さい

米の輸入自由化問題など、現在の農業をとりまく厳しい環境の中で生き残っていくためには、従来のやり方にとらわれず、自分たちで考えた新しい農業をつくり出していくことが必要です。

佐賀大学の全面支援を受けてスタートした「村づくり塾」には130人の意欲のある若い塾生が集まりました。村づくり塾は、元気で、夢のある農業を目指します。

## 考える農業 夢のある農業

佐賀大学農学部学部長

岩政正男教授(63)



村づくり塾の話をうかがい、たいへんすばらしい試みに感じました。地域に開かれた大学を目指している私たちも、このような申し出を待っていたところです。これはぜひ農学部をあげてお手伝いしようと、全面的な協力を約束したわけです。

昭和50年代から、農業に限らず全ての産業でハイテク化や情報化が進み、その形態が大きく変わってきています。こうした変化に対応するためには、先祖から受け継いだ農業のくり返しだけではなく、考える農業をする必要があります。

例えば後継者の問題にしても、高収益を上げている果樹農家や

施設園芸農家、畜産農家などでは、ちゃんとあとつぎが育っています。これは、もうかる農業を行っているからです。

これからは夢のある農業、楽しくできる農業を目指すことも大切です。新しい技術の導入や品種改良、多角的な農業経営へのチャレンジなどリスクもありますが、夢があります。こうした取り組みについて、自分自身が考えることです。

塾生とはまだ1度しか会っていませんが、新しいことをやるという意気込みが感じられます。村づくり塾をとおして、考える農業のあり方をいっしょに考えていきたいと思っています。

## 農村のリーダー育成

市は、農協や佐賀大学と協力して、農家のあとつぎを対象にした「21世紀伊万里村づくり塾」を9月からスタートさせました。

これからの農業を担う若い農業者を、いままでの農業にとられない、新しい時代の農業に積極的に取り組む地域農業のリーダーに育て、農業の活性化をはかるのが目的です。

塾は、地域の人たちとの交流を進めている佐賀大学あげでの応援を受け、農学部の岩政正男学部長はじめ教授、助教授10人の先生が、年に3～4回伊万里へ出向いて出張講座を開きます。塾には意欲のある130人が集まっています。ほとんどが20代、30代の農家のあとつぎで、女性も18人参加しています。先生たちも、若い人との交流を楽しみにされています。

講座のほか、大学の研究施設の見学や地域おこしグループとの交流会も計画しています。

# を目指して

平成2年12月1日発行

## 6つの専門部会

講座は6つの専門部会にわかれ、農業の最新情報・技術の学習会や意見交換を行います。

### ■ 果樹 ■

●岩政正男教授

<内 容>

- ・果樹園芸作物の遺伝、育種
- ・果樹の栽培、園芸作物の繁殖
- ・植物のバイオテクノロジーなど

### ■ 畜産 ■

●松尾昭雄教授

●岡本 悟教授

<内 容>

- ・家畜の生産、飼料
- ・家畜の遺伝、育種など

### ■ 食品加工 ■

●村田 晃教授

●内田 泰教授

<内 容>

- ・有用微生物、栄養食品
- ・バイオマス、未利用生物資源

### ■ 作物 ■

●田中典幸教授

●高木 胖助教授

<内 容>

- ・作物の生産理論
- ・農作物の品質育成など

### ■ 花キ・野菜 ■

●小島孝之教授

●宮崎貞巳教授

<内 容>

- ・植物工場、農産物予冷冷蔵
- ・野菜、花きの育種など

### ■ 経営 ■

●下村義人教授

<内 容>

- ・農業経営
- ・流通
- ・集落営農

## 村づくり塾で 仲間づくりを



二里町西八谷

前田清浩さん

(30)

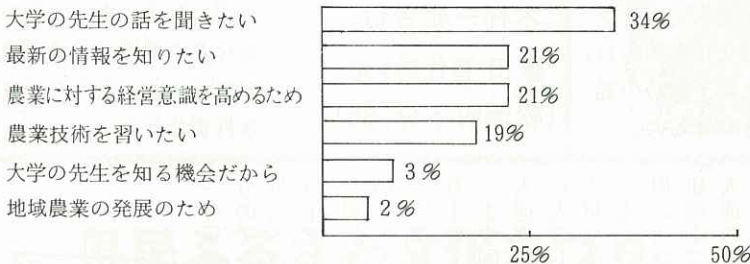
平成元年3月まで市内の会社に勤めていましたが、父の病気をきっかけに会社を辞め、農業に専従しています。60㎡のハウスで小ネギを栽培し、パートの人を7人雇っていますので、兼業ではできないんです。

会社勤めをしているときは、ほとんど家の手伝いをしていなかったのですが、農業についてはまだ素人同然です。いまは、ただ父のまねをしているだけです。

いまのままの農業をいつまでも続けていけばよいとは思いません。まだ農業経験が1年半しかありませんので、具体的にはわかりませんが、いずれは父の農業から自分の農業をやろうと考えています。

村づくり塾では、仲間づくりを進めて農業の技術や方法を学び、いいものをどんどん取り入れたいと考えています。時代に流されない農業をするための、一歩先を見る目を養ういい機会だと楽しみにしています。

### 塾生アンケート 村づくり塾に期待するもの



## くず野菜の活用 方法がないか...



黒川町畑川内

前田靖子さん

(37)

村づくり塾の話聞いて、こういう機会でもないかと大学の先生たちと話すことなどないし、普通なら捨てるようなくず野菜でも加工して商品にならないか

という気持もあったので、食品加工部会に入りました。

主人と2人でハウスきゅうりをやっていますが、ほとんど家とハウスの往復で人と会うこともないので、日常の出来事から農作物のことまで、情報を手に入れることができないんです。だから機会があれば何にでも出でてみて、いろんな人の話を聞きたいと思っています。

大学の施設見学も楽しみにしています。それに、くず野菜の活用方法や、添加物などを加えず安心して口にできる加工食品ができないか、期待しています。



# 秋の叙勲 おめでとうございます

秋の叙勲が発表されました。県内在住の受章者は44人で、伊万里市からは4人が受章されました。長年にわたって地道に業績を積み重ねてこられた人々です。



**勲五等瑞宝章**  
石丸 貞次さん  
(木須町木須西、71)

昭和21年伊万里町警防団員となって以来44年の長きにわたり消防の職務に精励。特に昭和57年からは市消防団長に就任し、最高責任者として団員の資質の向上、指導育成に努力を傾注。地域防災と郷土消防の発展に寄与されました。



**勲五等瑞宝章**  
林 岩夫さん  
(山代町立岩、71)

佐賀県自作農協会会長理事をはじめ、伊万里市自作農協会会長理事、佐賀県園芸農業協同組合連合会理事、伊万里市農業委員会会長など要職を歴任され、長年にわたり農業構造の改善、農業の近代化に貢献。地域農業の振興に尽くされました。



**勲六等単光旭日日賞**  
川久保 正さん  
(松島町松島、69)

昭和22年伊万里町消防団員となって以来43年の長きにわたり消防の職務に精励。昭和57年からは市消防副団長に就任し、幼年消防クラブや少年消防クラブの育成強化に努められ、地域防災と郷土消防の発展に寄与されました。



**木杯一組台付**  
藤田 喜代馬さん  
(松浦町下分、85)

昭和34年以来5期20年にわたり市議会議員を務められ、この間、副議長、文教厚生常任委員会委員長など要職を歴任。地方自治振興に貢献されました。これまで勲四等瑞宝章などを受章されているので、今回は木杯を受章されました。

今年最終の「せいらい」というので一年を振り返って見たが「へいせい」どころか激動の年であった。  
世界や国のできごとやがて十大ニュースになるのでここでは伊万里市内だけを取り上げてみたい。  
まず国際交流では、二月に大連市の尹妹さんが佐賀大学に入学し、その後大連市国際人材交流協会の王心明秘書長さんとの話し合いで水産や果樹の研修生が来伊して、目下研修中であり、九月には私が大連の前記協会から招へいされて名管理事の称号をうけ、引き続き薄副市長さんや大連師範学院の于名蒼院長さんの来伊があり、こちらからは議会の訪中団や伊小の松尾先生の大連学院への日本語指導派遣があったりで中国との交流はめざましいものがあった。  
また韓国とは青少年の剣道の交流、フランスの焼き物の里リモージュ市からは商工会



議所副会頭さんほか数名の訪問があったが、そのほか、米国への留学、欧米からの来訪など多く、鋭意国際交流都市づくりに熱意を傾けてきた。  
さらにふるさと創生資金による海外派遣も行い、古伊万里のルーツなどについて貴重な提言があった。  
企業誘致では江頭造船や共和水産・冷蔵の総合工場の竣工式、フタバ産業との進出覚書締結が行われた。  
イベントでは正月の二十日えびすで七福神の仮装行列があり、大阪花の万博には明星桜のリレマラソン、夏には夢コンサート、どっちゃん祭り、秋祭りの総おどり、献上窯たきなど伊万里の名声を盛りあげた。  
一方、今年には知名士で亡くなられた方が多く、県議の補欠選挙などは未曾有のことである。  
そのほか大型プロジェクトの数々、ふるさと村発足など産業振興面にも次々と新しい息吹きが起り、平成三年の伊万里市がどれほど発展するのか大きな期待がかけられる。  
(竹内)



## 教育委員会

### 教育関係功労者を表彰



伊万里市教育委員会は、11月9日、学校教育と社会教育のそれぞれの分野で長年にわたり貢献された7人と1団体を表彰しました。

表彰された人は、次のとおりです（敬称略）

#### ●学校教育関係

島山孝郎（立花町、60）白石道夫（二里町、60）  
秋吉博文（大坪町、60）故古賀徳男（伊万里町、58）  
山崎松大（二里町、60）

#### ●社会教育関係

石丸澄江（東山代町、61）那須 久（黒川町、74）  
黒川町ふるさと研究会

## 鍋島藩窯秋まつり

### 値引き交渉も楽しげに

秘窯の里大川内山の風物詩としてすっかり定着した鍋島藩窯秋まつり（窯元市）が11月1日から5日まで開かれ、2万2,000人の人出でにぎわいました。

期間中は、ふだんより2～3割安く焼き物が買えるため、毎年訪れるという人も少なくありません。お店の人とも顔なじみになった人は、「もっと安くしてよ」「う～ん、これ以上は…」と値引きの交渉をする姿も、どこか駆け引きを楽しんでいるようでした。また、昨年からはじめられた鍋島焼の伝統を再現した「献上窯焚き」も行われ、訪れた人たちは盛んにカメラを向けていました。



## 県民ふるさと文化まつり

県民ふるさと文化まつりが11月2日から4日まで、市民会館など5会場で開かれました。

伊万里市文化連盟は、毎年この時期に市の文化祭を開催していますが、今年は、県内各地区の持ちまわりで開催している佐

賀県芸術祭の当番市に当たったため、合同の催しとして開催されました。

市民会館など各会場では、書道展や陶芸展などの展示会や、大正琴や社交ダンスなどの発表会が例年どおり行われたほか、「一人芝居 しのだづま考」の特別公演などもあって、訪れた人を楽しませました。

11月2日は開会式のあと、佐賀県文化団体協議会（大塚 巖 会長）から、芸術文化に貢献のあった21人、5団体に佐賀県文化賞などが贈られました。



#### ◎箏と尺八による合奏

伊万里市関係の受賞者は次のとおりです（敬称略）

#### 佐賀県芸術文化賞

前山 博（木須町木須東、58）

#### 佐賀県芸術文化功労賞

山口房一（二里町川東、77）

伊万里市日本舞踊協会



◎陶芸展会場





◎会場いっぱい、人また人となった講演会

## ～お母さんは宇宙人～

### 橋 幸夫さんの講演会

橋 幸夫さんのお母さんは6年前に老人性痴ほう症が発病し、今年の5月に亡くなりました。その間、痴ほう性老人を介護することの大変さを身をもって体験し、「世間に隠すとか、恥ずかしいとかじゃなく、これから高齢化社会を考えると、母と家族の介護生活の実態を世間に知ってもらうことが、少しでも役に立つのではないかと、「お母さんは宇宙人」という本を書き、講演を始めるようになったということです。



妄想、幻覚、徘徊を繰り返す症状が重くなっていくお母さんと、介護する家族の悩みや苦し

みの中から「お母さんを人間の卒業生、例えば宇宙人になったんだと明るく考えれば、お母さんの行動を許せるのではないかと考えるようになった」と言い、「今の日本は目に見えるものだけを大事にする傾向が強い。もっと目に見えない“心”を大事にしてほしい」と訴えられました。そして「健康を維持する方法は、まずどんなときでも笑顔を忘れないこと。すべてすばらしいものは笑顔から生み出される」と話され、体験にもとづいた説得力のある話に、会場いっぱい詰りかけた人たちは最後まで熱心に聴き入っていました。

お年寄りから子どもまで、家族そろって健康な生活をおくろうと、三世代健康まつりが11月11日、「高齢者の生きがいと健康づくり推進モデル事業」のひとつとして佐賀県厚生年金休暇センターをメイン会場として開かれました。開成式で国民健康保険の健康優良家庭の表彰や健康づくりポスター入賞者の表彰などが行われたあと、「お母さんは宇宙人」というテーマで、歌手橋 幸夫さんが講演。会場にはコンピューター健康診断コーナーやすこやか食卓コーナー、年金相談コーナーなど多彩なコーナーが設けられ、2,700人の家族連れなどでにぎわいました。

# 三世代



◎薬草にも関心が集まりました



◎おいの血圧はどぎゃんじゃろか

### お医者さんの上手なかかり方

●医療費を有効に使うために●

重複受診はやめよう

早期発見・早期治療を



### 70歳以上の人は 老人保健で



国民健康保険の加入が70歳(または75歳)に達する老人保健によって医療を受けることになる。



—ヘルスパイオニアタウン事業—  
健康優良家庭を表彰



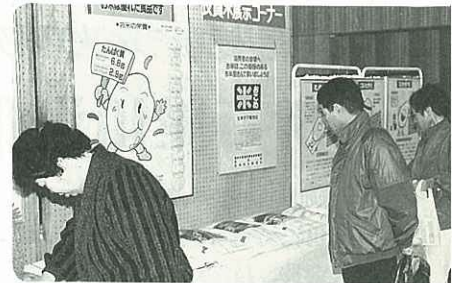
去年の4月から今年の3月までの1年間、国民健康保険に加入している家族全員が病院にかからず、保健センターで行っている住民健診などを受けている306世帯が「国民健康保険健康優良家庭」として表彰されました。



◎休暇センターの文化福祉事業として親子スケッチ大会なども行われました



◎ぼけ防止にも手話は効果的



◎米の見直しコーナー「お米は優れた食品です」

# 健康まつり

## 健康づくり ポスター

## 最優秀賞などを表彰

市内の小学4・5・6年生を対象として9月に健康づくりポスターの募集が行われました。9小学校から198点の作品が寄せられ、この日最優秀賞などに選ばれた18人が表彰されました。入賞者は次のとおりです。

〈小学4年の部〉（敬称略）

- 最優秀賞 松尾衣里子（立花小）
- 優秀賞 田中 大平（波多津小）
- “ 江口 智美（松浦小）
- 佳作 塚部 陽子（波多津小）
- “ 貞方里奈子（立花小）
- “ 副島 絵美（東山代小）

〈小学5年の部〉

- 最優秀賞 栗原さや香（伊万里小）
- 優秀賞 眞崎 明成（伊万里小）
- “ 金子 美保（山代西小）



◎小学4年の部最優秀賞  
松尾衣里子さんの作品

- 佳作 浦山 浩宜（立花小）
- “ 山口美由紀（伊万里小）
- “ 川原 千里（伊万里小）

〈小学6年の部〉

- 最優秀賞 原 大輔（東山代小）
- 優秀賞 瀧廣としこ（山代東小）
- “ 竹田 睦（波多津小）



◎小学5年の部最優秀賞  
栗原さや香さんの作品



◎小学6年の部最優秀賞  
原大輔くんの作品

- 佳作 松永 圭吾（大坪小）
- “ 富永 暁子（大坪小）
- “ 松尾 美紀（山代東小）





## ★ わが家のPOBOS ★

木寺 <sup>あやみ</sup>彩美ちゃん  
(1歳7か月)

好幸・久美子さんの長女

お散歩と猫が大好きで、お歌が聞こえてくるとおもわず踊ってしまう私。裕晃兄ちゃんと毎日、仲良く?! 遊んでいます。

(山代町楠久津)

# ほほえみ ひろは

この広場はみなさんのページです。  
あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

## 21世紀街づくり研究会

# 伊万里川浄化をPR

商店街の若手経営者でつくる21世紀街づくり研究会(吉富實美会長、14人)が11月1日、本町アーケードで「取り戻そう! 魚と遊べる伊万里川」をキャッチフレーズに、伊万里川の浄化を買い物客など通行人に訴えました。

同研究会は、商店街の活性化を図る新しい街づくりに取り組むために今年6月に発足。現在、伊万里川と商店街を組み合わせ

た魅力的な街「伊万里川リバーサイド構想」を研究中で、その第一歩として伊万里川をきれい



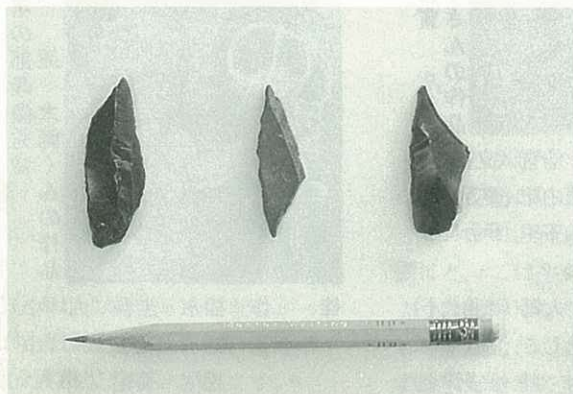
●水質検査の結果を展示して伊万里川の浄化をPRする会員

らおうと開かれたものです。会員は、河川水を汚す原因となっている家庭での油かすで作った石けんを通行人に配るなど、伊万里川の浄化をPRしました。

## 郷土の文化財

— 調査速報 —

# ナイフ形石器



前回は松浦町の大光寺遺跡の発掘調査を紹介しましたが今回は出土した遺物について紹介しましょう。

写真はナイフ形石器です。左は長さ5.5㍎・幅1.5㍎、中は長さ4.5㍎・幅1.4㍎です。3点とも腰岳で産出される黒曜石で作られています。黒曜石はガラス質の石で割れ口が鋭く、これを利用して旧石器時代の人々は刃物を作っていました。このナイフ形石器は割れ口の鋭い部分の一部を刃(遺物の右側)とし、他の部分は自分の手が傷つかないように刃潰し加工を施して形を作りだしたものです。このように旧石器時代の人々は、完成された石器作りの技術を使っていろいろな石器を作りました。

出土した石器の製作技術を詳しく調べることによって、人間の移動範囲、文化の広がり方などのいろいろなことがわかります。もの言わぬ石器は貴重な歴史の証人なのです。



## 青少年育成市民会議へ

# 法務大臣から感謝状



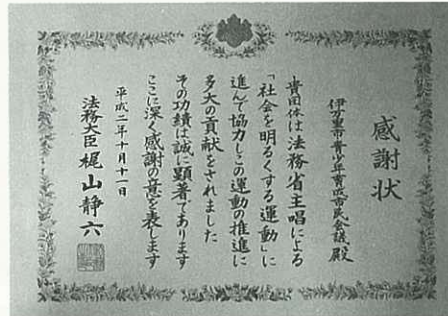
松尾 美加さん(23)

黒川町浦分(牡羊座、A型)

県経済連で事務をしています。趣味はまんが本を読むこと。笑われそうだけど、気晴らしにいいですね。性格はオッチョコチョイで、靴を脱いだまま運転席から降りたりしています。

今やりたいこと…東京ディズニーランドに行ってみたい。子どもっぽいかな。結婚は25歳くらいで。料理はコレカラ…

社会を明るくする運動に積極的に参加し、活動が続けてきた功績が認められ、10月11日、法務大臣から伊万里市青少年育成市民会議(堀田博雄会長、86人)へ感謝状が贈られました。



◎法務大臣から贈られた感謝状

同会議は、各町の青少年育成会議や関係機関団体、個人で組織するもので、昭和54年に発足しました。以来、伊万里地区保護司会(長尾三郎会長、54人)と協力、連携をとりながら、青少年を非行から守るキャンペーンや夜間パトロールなど、地道な活動を行ってき

ました。さらに、青少年を対象とした教育キャンプ「野性への挑戦」や国内研修「サマーキャンプ」など、健全で心豊かな青少年の育成に熱心に取り組んできました。

## 四季の詩

筆硯を洗い清めて塾納め  
新天町 井手口 節子

語らひて時の過ぎゆき忘れ居し  
ホットミルクの君の雰囲気  
東山代町天神 森 幸子



## スティーブさんの伊万里見て歩き

# うらやましい教育への情熱

私は、波多津から山代まで、伊万里のいろいろな地域の人々の前で話す機会がもて、とても良かったと思っています。伊万里のすべての人は、とてもフレンドリーで親切です。この場をかりてお礼を言わせてください。いつもありがとうございます。伊万里を訪れたことのある外国人は、みんな伊万里の印象をフレンドリーで親切、あたたかい所だと言います。伊万里で仕事をする機会がもて、そのことが良くわかりました。

以前のスピーチで、日本とアメリカの違い、例えば習慣の違い、考え方の違いなどについて

話をし、勉強しました。いっしょに話をしてみても、多くの違いを見つけました。私の場合、日本人の教育に対する情熱をとてもうらやましく思います。

## 安全で平和な日本

また、私は日本がどんなに安全で、平和で、住みやすいかということについて話をしてきましたが、日本に住んでいればあたりまえのことなので言っている意味がよくわからないかもわかりませんが、アメリカの私にしてみれば、それはとてもすばらしい宝物だと思います。



ふるさとさん

こんにちは

千葉県市川市末広

中西徹子さん(32)

(松浦町出身、旧姓松尾)

こちらへ来て4年。まだ半分  
以上は伊万里人の私です。スー  
パーで伊万里梨などを見かけ  
ると売れ具合が気になって、売り  
場を離れ難いときもあります。

出産などで帰省のたびに、変  
わらない伊万里にほっとし、変  
わる伊万里にどきとします。

松浦町の出身で、自然に親し

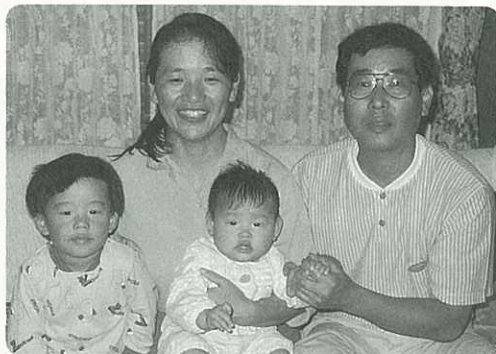
## 伊万里を思うと心が和む

み野良仕事など  
を手伝っていま  
したので、田畑  
や山が恋しく、  
田舎の風景を思  
うと心が和みま  
す。

市川市は人口  
43万人。都心に  
近く、東京のベ

ッドタウンとしてとみに栄える  
新興住宅街であるとともに、名  
所・旧跡などを今に残す2つの  
顔を持つ街です。市内にある国  
府台は、かつて下総の国の国府  
がありました。

今住んでいる所は、東京湾に  
近く、旧江戸川と江戸川放水路  
に囲まれた場所です。人工干潟



◎ご主人の敬さん、長男の央典くん  
長女の由紀ちゃん

には野鳥観察舎があり、隣には  
宮内庁のお狩り場もあります。

伊万里が自然あふれる中で開  
発され発展していくなら、海の  
青さと山の緑は、伊万里のシン  
ボルカラーですね。

このカラーが失われないこと  
を祈りながら、伊万里湾大橋の  
完成と農道空港の開港の日を楽  
しみに待っています。

### <同和教育 No.71>

## 人権週間によせて

「今どきの若い人たちは、合  
理的な考え方ができるので、部  
落差別はそのうちなくなるでし  
ょう」という人もいます。しか  
し、実際の生活をみますと、意  
外に昔からの誤った慣習や言い  
伝えを信じて暮らしていること  
が少なくありません。

ご存じのように、同和問題に  
関する偏見は全く根拠のない言  
い伝えによるところが大きいの  
です。人づてに聞いたことを信  
じ込み、予断や偏見でまちがっ  
た社会意識を形づくり、差別の  
完全解消を遅らせています。

私たちは日常生活において、  
真実を正しく学びとり、まちが  
った考えや慣習を正していく、  
不断の努力の積み重ねが必要な  
のです。

### あとを絶たない差別

ところが残念ながら同和問題  
の解決を妨げるようなことが起  
きています。例えば、言われた  
側にとっては生死にもかかわる  
ような屈辱になる、人権を無視  
した差別発言、在日外国人に対  
する不用意な差別発言、無分別

な差別語の落書き、就職採用時  
の不当な身元調べ……など、あ  
とを絶ちません。

これらのことは人そのものを  
大切に見ないで、片寄った見方  
でその外観だけをみてしまう意  
識からくるものです。

### 早期解決のために

このように、生まれた所、住  
んでいる場所、血筋や家柄など  
にこだわる古い見方、考え方を  
改めていくことが、同和問題の  
早期解決につながるようになる  
のです。

12月4日から人権週間です。  
この機会に家庭でもぜひ人権を  
大切にする話題を広げてみてく  
ださい。





## 心豊かな長寿社会に

“活力ある心豊かな長寿社会いまり”を考える市民の集いが11月8日、市民会館で開かれ約700人が参加。長生きを喜べる長寿社会を築くための方策を考えました。

まず、佐賀新聞社論説委員長の河村健太郎さんが「市民全員で取り組むべき問題。それぞれがネットワークをつくり、有機的なつながりをもった対応が必要だと思う。全国の手本となる伊万里モデルを作ってほしい」と基調講演を行ったあと、大塚巖佐賀女子短大教授ら4人のパネラーを加えて、長寿社会のまちづくりについて討論が行われました。

河村さんの基調講演



## やってみゅーだ '90 IN大川町



大川町農協青年部（梅崎政勝部長、96人）は、町内のだれもが楽しめる催しで地域おこしをしようと10月27日、同町農協会館などで「やってみゅーだ '90 IN大川町」を開催しました。

午前中の講演会に続き、午後からは大川中学校で綱引き大会が行われました。町内、市内のほか佐賀市などからも男女45チームが参加。賞金総額20万円をかけて熱戦をくり広げ、詰めかけた町民などで満員の会場から、盛んな声援や拍手が送られました。

## 寒らん会

伊万里寒らん趣味の会（中島 譲会長、49人）主催の寒らん会が11月10日と11日の2日間、大坪公民館で開かれました。

国見山系の地元のらんを一般の人に見てもらおうことや会員相互の親睦、技術の向上を目的として開かれているもので今回で9回目になります。

らんは、水かけ3年と言われるほど管理がむずかしいそうですが、どの鉢も手入れが行き届き、すばらしい花を咲かせていました。



## 単身赴任者料理教室



講師の野田京子さんが初歩的な料理を指導

市内に住む単身赴任者の料理教室が、10月18日から3回、中央公民館で開かれました。外食に偏りがちな単身赴任の人に、手作り料理に親んでもらおうと、中央公民館が昨年からはじめたものです。

最終回の11月14日は、主催者からお酒の差し入れがあり、自分たちが作った手料理をさかんにミニパーティーが開かれました。鹿児島おはら節などお国自慢の歌が次々に披露され、14人のお父さんは、それぞれの家族に思いを寄せていました。





**県中学駅伝**

**伊万里中女子逃げきる**

佐賀県中学校駅伝大会が11月13日、国見台周辺コースで行われました。大会には各地区の予選を勝ち抜いた男女44チームが参加。男子8区間、30km、女子5区間、11kmに健脚を競いました。

男子は前半、区間ごとに首位

が入れかわる混戦となりましたが、後半有田中が抜け出して優勝。伊万里市から出場した国見中は13位に終わりました。

女子はスタートから伊万里中、昭栄中の2チームで首位争いが続きましたが、2区からトップを奪った伊万里中が6秒差でそ



○優勝のテープを切る伊万里中のアンカー佐々木選手

のまま逃げきり、優勝を飾りました。

<男子>

優勝 有田中 2位 北茂安中  
3位 武雄中

<女子>

優勝 伊万里中 2位 昭栄中  
3位 江北中



○山代中対大川中

**議長旗争奪中学生野球**

**黒川中逆転で優勝**

第7回議長旗争奪中学生野球大会が11月3日と4日の両日、国見台野球場で行われました。

市内の8つの中学校から、3年生が抜けたあとの新チームが参加。はつらつとしたプレーで熱戦を展開しました。

試合途中で雨にたたられた決勝戦は、2点を先行された黒川中が逆転勝ちして優勝を飾りました。

成績は次のとおりです。

優勝 黒川中 準優勝 山代中  
3位 伊万里中・波多津中

**少年サッカー大会**

**大坪小ファイターズ けり勝つ**

第6回少年サッカー大会が11月11日、国見台球技場と陸上競技場で開かれました。

市内各地区から小学生の部に16チーム、中学生の部に5チームが参加。小学生の部では、予選リーグを勝ち抜いた3チームが決勝リーグに進出し、大坪小

ファイターズの足わががさえて優勝を飾りました。また、中学生の部では、国見マラドーナジュニアズが接戦を征しました。

<小学生の部>

優勝 大坪小ファイターズ  
準優勝 大坪小キッカーズ  
3位 伊万里小A



<中学生の部>

1位 国見マラドーナジュニアズ  
2位 国見高ジュニアFC  
3位 波多津中FC  
〃 伊万里無尽館道場

※広報いまり11月号の体育指導委員古河孝さんの住所「塩屋」は「井野尾」の誤りです。



## 第22回市民体育祭

# 総合優勝は3年連続大坪町



「みんなで走ろう」には、小学生からお年寄りまで三百人が出場

秋晴れの10月28日、国見台陸上競技場で第22回伊万里市民体育祭が開かれ、26種目に3,000人が参加。趣向を凝らした応援団の声援を受けながら、日ごろ鍛えた力を競いました。

また、身体障害者競技もオープンで行われ、障害急歩など3種目に35人が参加しました。

成績は次のとおりです。

### 総合の部

優勝 大坪町 (110点)

準優勝 東山代町 (104点)

3位 大川内町 (102点)

④山代町⑤二里町⑥黒川町⑦大川町⑧波多津町⑨牧島⑩南波多

町⑪伊万里町⑫松浦町

※躍進賞 = 波多津町

※応援賞 = 黒川町

※入場行進特別賞 = 東山代町

## 12月のスポーツ

2日(日)

●伊万里町民駅伝大会

10時 伊小下(馬伏) スタート

●二里町民駅伝大会

8時半 二里公民館 スタート

23日(日)

山代町青年団駅伝大会

10時 楠久(岩本電器前) スタート

1月1日(火)

南波多町民歩こう会

午前5時半 南波多農協裏 出発

## 体育関係功労者を表彰

開会式では、競技に先立ち長年にわたり体育関係で功労のあった人や活躍された選手たちの表彰が行われました。

### 体育功労賞(以下敬称略)

・故吉原羊一郎(大坪)。故中島恒雄(牧島)。川崎照己(松浦)。松瀬 勲(二里)。西田岩男(二里)。川本 明(市体

育協会)。故松尾和人(市卓球協会)。山本領造(市ソフトボール協会)。金子幹夫(市バドミントン協会)。松本 要(県西部高等学校体育連盟)

### スポーツ賞

・伊万里中女子駅伝部。国見中野球部。伊万里商業高校女子ホッケー部

市は、「市民1人1スポーツ」を推進し、各町に体育指導委員を配置しています。あなたのまちの指導委員さんをご紹介します。スポーツのことなら気軽に声をかけてください。

### ●南波多地区(左から)

梅村 富雄さん(50) 笠 権

福島 勉さん(35) 府招上

熊川 俊郎さん(37) 水 留

♥スポーツやレクリエーションに汗を流し、皆さんと楽しみましょう。

おわびして訂正します。

## 皆さんよろしく!

### あなたのまちの

## 体育指導委員です





## 戸籍は正しい文字で

戸籍の中には、氏名が誤字あるいは俗字で記載されているものがあります。そのため、官公署の窓口などでトラブルを生じ、不便を強いられている人がいます。そこで、平成3年1月1日以後は、従来の戸籍に誤字、俗字で記載されている氏名を新しい戸籍に記載する場合には、正しい文字を用いることになりました。

### ＜正しい文字になる場合＞

- 1 婚姻、転籍などによって新しく戸籍をつくる場合
- 2 養子縁組などによってほかの

戸籍へ入籍する場合

3 戸籍を再製する場合など

誤字、俗字を正しい文字で記載する場合は、届け出のときあるいは戸籍に記載したあとに、その旨をお知らせします。

また、俗字のうち「高」とか「崎」など、一定の範囲の字については従来のまま記載します。

申し出によっても誤字、俗字を正しい文字に訂正することができます。詳しいことは、法務局(☎2492)か市民課記録管理係(☎2111 内線212・213)へお尋ねください。

## 私のまち 写真コンテスト

「まち」の姿を自由な発想、独特の視点でとらえた写真を募集します。

- サイズ 白黒、カラープリントで、サービス判以上四ツ切りまで
- 締切り 12月31日(消印有効)
- 応募上の注意 未発表の作品なら1人何点でも応募できます。作品の裏に題名、撮影場

所、撮影年月日、氏名、年齢、住所、職業等を明記してください

- 応募先 〒113東京都文京区本郷2丁目17番13号広和レジデンス(社)日本交通計画協会内「私のまちの写真コンテスト」事務局(☎03 816-1791)
- 問い合わせ先 市都市開発課(☎2111 内線342)

## 宝くじ普及広報事業で複写機を購入

ふるさと消防団活性化事業のひとつとして、自治総合センターから「宝くじ普及広報事業」の助成を受け複写機を購入しました。

消防団活動に対する認識を深めてもらうための防災広報紙の作成などに役立っています。



市消防本部に設置された複写機

## 1月2日の初売りに

### 初売号を臨時運行

JR、MR、西肥、昭和の各交通機関が、初売りに合わせて臨時便を運行します。

#### 主な停車時間

◆有田方面から		◆山代方面から	
MR		MR	西肥
有田発	3:18	浦の崎	3:23 3:18
金武	3:34	楠久	3:32 3:28
伊万里着	3:40	伊万里着	3:40 3:40

◆唐津方面から		◆波多津方面から	
JR	昭和	西肥	
唐津発	2:55	大曲	3:20 波多津 3:15
大川野	3:27	府招上	3:29 黒川 3:27
伊万里着	3:50	伊万里着	3:40 伊万里着 3:40

◆松浦方面から		◆大川内山から	
昭和		西肥	
桃川三ツ角	3:18	大川内山発	3:26
古賀	3:32	平尾	3:33
伊万里着	3:40	伊万里着	3:40

※初売り号を利用された人にはもれなく1月20日のえびす祭りの福運券(500円)を進呈

## 地域でささえあう

### 明るいお正月



歳末たすけあい運動



## 市職員(用務員)採用試験

市職員(用務員)採用試験を行います。

- 試験区分と採用予定人員  
用務員 若干名
- 受験資格 昭和40年4月2日から48年4月1日までに生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短大を除く)若しくはこれに準ずる学校の卒業者または、平成3年3月31日までに卒業見込みの人を除いた人
- 1次試験 平成3年1月13日

- 試験内容 教養試験
- 受付期間 12月5日～21日  
(締切日消印有効)
- 申込先・試験案内の請求  
申込書の交付は、市総務課職員係(〒848伊万里市立花台1-1-1 ☎2111内線411・418)で行います。  
郵送で請求の場合は、封筒に「採用試験申込書請求」と朱書きし、72円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封してください。

### 物品購入(修理)の指名業者

## 登録申請は1月中に

平成3年度の伊万里市の物品購入(修理)の入札(見積り)に参加を希望する人は、あらかじめ指名業者の登録が必要です。1月1日現在で1年以上同種の事業を営んでいる人で、希望者は次の要領で申請してください。

- 受付場所 市役所財政課 (☎2111 内線433)

- 受付期間 1月4日～31日
- 提出書類 入札参加資格申請書、納税証明書ほか  
※様式は、返信用封筒を同封のうえ、郵送で財政課財政係へ申し込むか、来庁ください。詳しいことは財政課へお尋ねください。

## 統計調査員募集

市の統計調査員として登録し、調査業務があるときに優先して従事していただく人を募集しています。

- 募集期間 12月1日～20日
- 仕事内容 各調査に応じて調査対象を訪問し、調査項目を聞きとる仕事です
- 調査員手当 調査に応じて支給
- 申し込み はがきに住所、氏

- 名、生年月日、電話番号を記入し、登録調査員を希望と書いて申し込んでください
- 応募資格
  - ▲年齢 20歳～65歳までの人
  - ▲統計調査に熱意のある人
  - ▲実際に調査に従事できる人
 ※詳しいことは、市企画課事務管理統計係へお尋ねください。  
(☎2111 内線405)

## 今月の市民相談

場所:市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

- 法律 6.20(木)
- 社会保険 7.14.21(金)
- 交通事故 11.25(火)
- 行政 19(水)
- 人権 4.5(大川公)18(火)
- 身障者 ー
- 青少年 27(木)
- 消費生活 3.10.17(月)25(火)
- 婦人就業 5.12.19.26(水)

## 12月の市民会館行事

- 2日(日)13時半 無料  
文化講演会(草柳大蔵氏)
- 9日(日)9時半 無料  
童謡まつり(市福祉事務所)
- 22日(土)11時と12時40分、14時20分の3回 大1,400円小800円  
映画「ちびまる子ちゃん」
- 25日(火)9時 無料  
市教育研究大会(教育委員会)



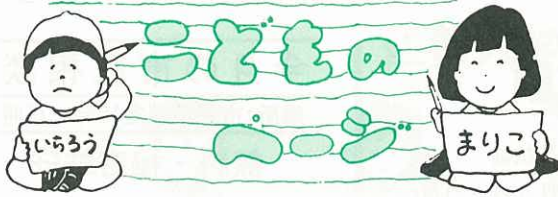
## 色えんぴつ

ふるさと創生1億円を活用した「グローバル伊万里海外派遣事業」が今年から始まり、市内の男女10人がヨーロッパ研修に出かけました。

物よりも心を大切にす文化の香り高いヨーロッパの風土に触れて、何を感じたか…。

異文化を知る、異文化を感じる、それだけですばらしい体験だと思います。その体験を、これからの生活やまちづくりに生かしてもらえればと期待します。





## レンゲの種まき

# かわいい花を咲かせてね



◎春にはこの田んぼがレンゲでいっぱい

伊万里レンゲの会（立川荒雄会長、100人）は10月29日、脇田町の田んぼ10<sup>ア</sup>で、伊万里保育園の年長、年中組の園児120

人とレンゲの種まきをしました。園児たちはまず種と「春にはかわいい花を咲かせてね」などのメッセージを結んだ風船120

個を飛ばしました。去年はこの風船を持った有明町の人から手紙といっしょに特産ののりが送られてきたそうです。

そのあと園児たちは、ビニール袋に入ったレンゲの種をもらい、田んぼいっぱい広がって種まきをしました。

種まきは今年で6回目で、春には紫色の花を咲かせたレンゲのじゅうたんの上で、レンゲを摘んでファッションコンテストなどをする「レンゲフェスティバル」が行われています。



## 子どもゲートボール大会

### 腕はおじいちゃん仕込み

南波多町子どもゲートボール大会が11月11日、南波多小学校で開かれました。

大会には、町内14地区の子ども会から小、中学生100人が参加しました。また、子ども会役員だけのチームも特別参加して、計15チームが3コートに分かれてスティックのわざを競いました。

この大会は、南波多町子ども会連合会（波多 眞照会長）が町老人クラブ福寿会（川副 一会長）と協力し、子どもたちとお年寄りの触れ合いの場を作ろうと、6年前から続けられています。

日ごろの練習で、子どもたちは地区のお年寄りからスティックの扱い方などを教わり、大会に備えました。この日の大会も老人クラブの会員が審判員を



◎「そんなに見られると緊張するよ」

つとめました。子どもたちの抗議には甘い審判員さんでした。成績は次のとおりです。

- 1位 大川原子ども会
- 2位 府招下 "
- 3位 笠 椎 "